



まちづくりニュース

1 まちづくりに関する勉強会を開催します

町では現在、まちづくりに関してテーマを絞った勉強会を順次開催しています。今回は、まちづくりの際に建物等の移転が必要になった場合の方法や、その補償等についての勉強会を次のとおり開催します。

日 時

令和7年8月8日（金）午後 7時から 8時30分まで

令和7年8月9日（土）午前10時から11時30分まで

※どちらの日程も内容は同一です。

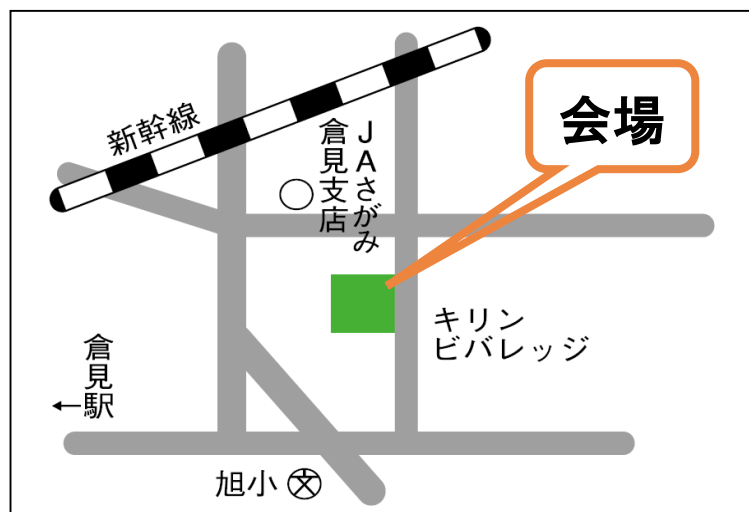
会 場

倉見地域集会所

（寒川町倉見1550-2）

内 容

移転・補償の仕組みについて



2 新駅設置要望に対するJR東海の回答

JR東海からは、「新駅につきましては、中央新幹線が開通してから、その先の問題であり、新駅設置の可否について検討できる段階ではありません」としながらも、「中央新幹線が開業し、東海道新幹線のダイヤ構成に余裕が生まれれば、新駅設置の余地が高まると考えております」との回答もいただいています。

また、次のような回答も過去に追加されており、新駅の誘致に向けたまちづくりへの協力的な姿勢を示していただいています。

今後もJR東海からの助言等をいただきながら、まちづくりの具現化に努めてまいります。

平成30年度～

「新駅周辺のまちづくりの検討にあたり、助言等を求められれば協力していくこととします」

令和6年度

「街づくりを含めた周辺状況を把握していく考えです」

町と神奈川県では、JR東海からの「新駅周辺のまちづくりについて、助言等を求められれば協力する。」との見解を受けて相談を重ね、令和7年2月にJR東海との4回目となる技術相談を実施しました。

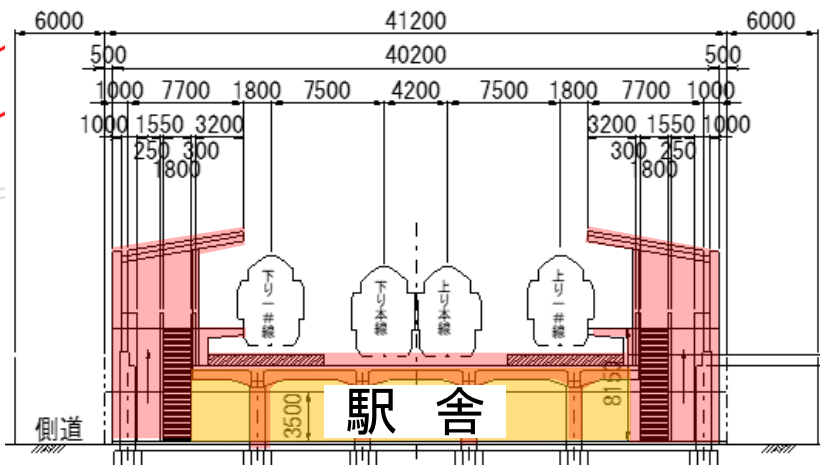
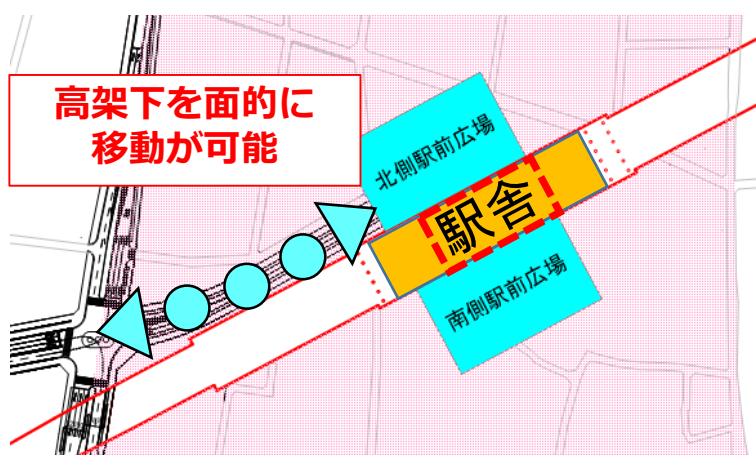
今回は、新幹線の線路の下に駅舎を設置する「高架下駅舎」と線路の脇に駅舎を設置する「地平駅舎」について、技術相談を実施しました。今回いただいた助言等を活用し、引き続き、まちづくりの検討を進めていきます。

令和7年6月2日に、神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会（会長：県知事）の総会が開かれ、駅舎形態について、次のとおり県から報告がありました。

高架下駅舎

※図面はイメージです。

- ・線路やホームを全て築造するため費用が高額となる。
- ・上下線ホーム（高架）の下を自由に移動できる。



地平駅舎

※図面はイメージです。

- ・既存の線路を活用するため、費用を抑えることができる。
- ・駅舎を片側に設け、連絡通路で上下線ホームを行き来する。

